

令和6年度  
近畿大学大学院 総合文化研究科 入学試験  
【一般】

日 本 文 学 専 攻  
専 門 科 目 試 験 問 題

【創作・批評コース】

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をお読みください。

- 1) 解答はじめの合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
- 2) 机の上には、受験票、HBの黒鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式は除く)、時計(時計機能だけのもの)、眼鏡以外のものは置かないでください。
- 3) 辞書については、持ち込を許可されている専攻・コースのみ使用可能です。(電子辞書は除く)
- 4) 試験開始後、解答用紙にコース名・受験番号・氏名を記入してください。
- 5) 試験開始後に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等に気が付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 6) 試験終了後、問題冊子はお持ち帰りください。

令和6年2月17日実施

令和6年度 総合文化研究科 一般入学選考・2月入試 専門科目  
(日本文学専攻 創作・批評コース)

問一

日本文学における外国語との関わりについて、以下の四つの観点のうち、どれか一つを選んで論述せよ。250字から500字程度。

- (1)古代以降の中国からの漢字や漢文学の流入
- (2)明治時代以降の、欧米文化流入にあわせた日本語と日本文化の変革
- (3)20世紀以降の日本での翻訳文体が日本語にもたらした変化
- (4)近年の日本産文化の海外への輸出の状況について

問二

20世紀前半の日本での探偵小説ムーブメントについて、以下の作家の名前をあげて論述せよ。江戸川乱歩と横溝正史は必須とし、他に以下の作家たちの中から選んで二人以上とりあげることとする。350字から650字程度。

- ・黒岩涙香
- ・岡本綺堂
- ・谷崎潤一郎
- ・夢野久作
- ・木々高太郎
- ・甲賀三郎
- ・久生十蘭
- ・小栗虫太郎
- ・松本清張

問一 解答例

日本語の成り立ちは、中国の漢文あるいは外国語からの流入と影響ぬきには考えられない。中国語の漢字は、本来は他言語の文字であって、やまとことばを表すのには必ずしも適さないものであったが、漢字を輸入し、仮名書き文字をつくり、書き文字としての日本語は独自の発展を遂げることになる。漢文を読み下して日本語にする独自の翻訳の仕方は、世界的にも類を見ないものとして注目に値する。日本語は、出自が自分のものでない漢字を自家薬籠中のものとし、付加価値をいろいろと付け加え、特異な発展経路をたどった。

問一 出題意図

問一では、日本語と日本文学の関わりについての思考力を問う問題とした。そのために外国語と日本語の関わりが必須であるとの観点から、選択肢を四つもうけ、考察する力を問う問題を作成した。

問二 解答例

探偵小説の父として江戸川乱歩が有名だが、先行者としてあげられるのは黒岩涙香であり、乱歩・正史ともに黒岩涙香の影響を大きく受けた。黒岩涙香は、『無惨』の作者として日本初の創作探偵小説をものしたが、その翻案においても独自の創作性を発揮し、『鉄仮面』や『幽霊塔』など、独自の創意を作品に付け加えている。文体としては、言文一致運動以前の擬古文といえるものであり、江戸時代の読物の延長線として読まれることもあった。また、登場人物を日本名にし、独特の和洋折衷を実現している。

問二 出題意図

推理小説を研究したいという志望者がいるのをふまえ、それにかかわる出題をするにあた

り、問二では、日本推理小説史上のビッグネームをとりあげ、それについての基礎的知識を問うこととした。